

科学系部活動 大活躍



11月6日～7日にかけて、コンピュータ部と化学部が全国大会（コンテスト）等に出場してきました。



☆コンピュータ部

パソコン甲子園 グランプリに輝く！！

会津大学（福島県会津若松市）で開催されたパソコン甲子園2004に出場しました。昨年度は惜しくもグランプリを逃したメンバーですが、今年はダントツの強さを発揮し、念願だったグランプリを見事に獲得することができました。



☆化学部

JSEC2004 朝日新聞社賞受賞

東京の日本未来科学館で開催されたJSEC2004で『銀のリサイクルと江戸時代の写真術の再現』の研究成果を発表してきました。コツコツと積み上げてきた成果が評価され朝日新聞社賞を受賞することができました。



コスモサイエンスⅠ 校外研修

コスモサイエンスⅠの校外研修が実施されました。『もの作り』に焦点をあてた研修として、金沢大学工学部と金沢工業大学へ出向き、研修を受けてきました。

金沢大学工学部



では、「人間社会をささえる工学」の講義を受けた後、6つの班に分かれ、自分の興味ある研究室を訪問し、最先端の工学に触れてきました。

【生徒感想】前半は工学の意義などについて講義を受けた。工学の重要性について学び、未来の世界を考えていることに対して驚いた。後半は流体運動や微積分について教わった。特に微積分は内容が難しかったが、その利用価値を知り驚嘆したとともに、更に数学や科学に興味がもてた。



金沢工業大学



では、スターリングエンジンの製作実習を行ってきました。今回は、昨年度の反省点を踏まえ、スターリングエンジンについて事前学習をし、原理について学習した後の実習となり、より実りある研修となりました。

【生徒感想】自分で作ったスターリングエンジンが最後に動いたのでとてもうれしかった。学生さんにもいろいろ手伝ってもらってよかった。もの作りの楽しさがわかった。原理もすごいと思った。



野外研修報告

11月20日（土）に理数科の1・2年生が校外へ出て研修を行ってきました。



コスモサイエンスⅡ 地学巡検



2年生は、コスモサイエンスⅡの地学分野の野外研修として、『福井県立恐竜博物館』へ出向き研修を受けてきました。日本一の規模を誇る同博物館では、昼食を取るのを忘れてしまうほど、熱心に研修していました。また、予定にはなかった博物館の指導員による特別研修があり、質疑応答が活発になされていました。



鴨池観察館&雪の科学館研修



1年生は、地学の野外研修として、加賀市出身で人工的に雪の結晶を作り出した科学者中谷宇吉郎の業績や雪に関する最新の実験・観察装置を備えた『中谷宇吉郎 雪の科学館』とラムサール条約登録湿地に認定されている『加賀市鴨池観察館』を訪問し研修を行ってきました。鴨池観察館では遠くシベリヤから渡ってきた野鳥の様子を観察し、今の自然環境を崩さず人間と自然が共生していくことの大切さを感じ取ったようでした。また、雪の科学館で雪の結晶作りやチンダル像の観察などの実習を行い、目の前でどんどん成長する雪の結晶を見て多くの生徒が感動していました。さらに、中谷博士の功績に触れ、自然を研究する魅力を感じ取っていました。小さい頃から雪に触れてきた生徒たちですが、改めて「雪」について学習した成果が、今冬表れてくることを期待しています。



人間科学特別講義



1年生を対象にした、人間科学の特別講義が11月17日と24日に行われました。

17日は金沢大学医学部の小川智教授による「脳の働きのすばらしさ」を、24日は同じく金沢大学医学部の谷内江昭宏教授による「免疫の働きのすばらしさ」の特別講義でした。詳細は特別号でお知らせしますが、2回とも積極的な質問が相次ぎ、とても有意義な授業となりました。



あとがき

★野球部が春の甲子園の21世紀枠の石川県候補となりました。化学部やコンピュータ部も各種コンクールで入賞が相次いでいます。「文武両道」を掲げ頑張っている生徒達の活躍が目立った11月でした。
★12月16日のSSH研究発表会まで1ヶ月をきりました。教職員はその準備で忙しく、生徒たちはA I プロジェクトや理数数学探求の発表準備で大忙しの師走になりそうです。風邪が流行ってきています。体調管理を充分に、発表会へ向けて全力投球!!と気合を入れなおし、頑張しましょう。